

	チェック項目	評価				改善すべき点	改善すべき点をふまえた今後の目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	0		
	② 職員の配置数は適切であるか	6	0	0	0		
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	0		
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	2	0	3	PDCAサイクルに参画させる。	参画状況を確認して、広く職員が参画できる方法をとる。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	0	1	保護者アンケートの活用が不十分。	保護者等向けアンケートを利用し職員への周知と、業務改善のためのミーティング等を増やす。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	2	職員への連絡不足。	公開していますが、職員への周知の徹底。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	1	0	5	第三者機関へつなげていないこと。	児童通所施設の第三者評価は任意で、「可能な限り第三者による外部評価を導入して、事業運営の一層の改善を図る」とされていますので、今まで正式な審査を受けたことはなく、できる限り第三者のご意見を聞くという体制をとってきました。令和3年度はコロナウイルスの影響もあり、社外の方々と接する機会を制限してきましたので、残念ながら評価はおこなわれておりません。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	1	研修の実施が不十分。	研修の内容を充実させる。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	1	計画書の作成前の職員会議の内容の検討。	アセスメントは必ずおこない、ニーズ分析にも努めていますが、計画に関する周知・共有が職員間で不十分であったと思います。今後は周知の徹底と共有に努めます。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	0	1	標準化されたアセスメントシートを理解させていない。	標準化されたアセスメントツールを使用していますが、職員への周知が不十分でした。情報共有の体制を見直し、適切な共有に努めます。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	2	1	1	個人の意見を尊重していない。	今後はできる限りチームで立案できるよう検討していきます。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	0	1	3	障害受容の観点がなされているか。	利用児童の心身の状態をよく見てバランスをとりながら、活動プログラムの検討。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	3	1	0	障害受容を踏まえたうえでのきめ細かさの内容。	障害受容を踏まえたうえでのきめ細やかさの内容の確認。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	1	成長や障害特性を踏まえたうえでの作成。	成長や障害特性を踏まえたうえでの計画の作成。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	0		
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	2	1	2	支援終了後の打ち合わせの是非。	支援終了時のミーティングの必要性について検討を重ねる。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	1	0	記録していることを知らない職員がいること。	日々の支援に関して情報共有できるよう記録をとっていますが、記録した内容を支援に活かせるよう努めていく。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	1	個別面談を行っていることを知らない職員がいること。	「わからない」回答の職員のためにしっかりと説明をしていく。
関係機関や保護者との連携	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	2	0	1	総則の内容等を理解できていない職員がいること。	再度活動内容の確認をおこない、より良い支援を目指す。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	1	全職員が参加していない。	非常勤職員が全員出勤の際に行うようにする。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	0	0	0		
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	0	1	4	主治医と業者間の直接の連絡ができるか疑問。	保護者を通して主治医と話をしようと思う。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	0	1	5	保護者との面談で十分と思っていたこと。	保護者と相談の上、必要だと思われる場合や保護者が希望した場合は、積極的に情報の収集を行っていく。
㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	0	0	5	進路は保護者と学校が主体の為その後の情報共有は行っていない。	保護者が必要だと希望される場合は行っていく。	

		チェック項目	評価				改善すべき点	改善すべき点をふまえた 今後の目標
			はい	どちら とも いえない	いいえ	わから ない		
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	0	1	3	助言は受けておりそれを常勤から伝えていたがそれが児童発達センターからの言葉だと思っていない。	児童発達支援センター等からの助言だと伝えてから話す。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	5	1	障害のない方たちとの交流がないこと。	人間関係のできていない方たちとの急な交流は大変困難だが事故の無いように交流させるにはどのようにしたらいいかを考える。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	0	2	4	今年度は管理者の体調不良で参加できていない。	参加したことを伝えるようにする。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	0		
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	1	0	5		全職員がペアレントトレーニングという言葉を変重大に考えている。このことは今後も持ち続けるが、何気ない会話の中にも保護者の自信を高めているようなことがあるかもしれないので積極的に話を聞いてくる環境を整える。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0	1	保護者へは行っているが職員には行っていない。	今年度中に行う。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	0	0		保護者からの悩みに応じ切れているのか疑問に思う職員もいる。自信をもって対応できるような働きかけをしていく。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	1	4	開催することが出来ていない。	令和5年度は開催に向けて案を出す。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	1	苦情の申し出があった場合は全職員へ伝える。	苦情の申し出は全職員のこととして一丸となって解決していく。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	1	掲示物への関心を高める。	お便りは掲示してある。職員の掲示物を見て気づく心を高める。
	③5	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	0		
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1	0	1	自分本位の意見をしてこない配慮のある職員が多いがこのような数字になる。	自分本位の意見を発言しないという配慮がなされている職員が多い。この気持ちは持ち続けていく。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	2	2	令和4年度は感染症対策の為行わなかったこと。	感染症と社会の状況、利用者の方々の気持ちを鑑み開かれた事業所を目指す。
非 常 時 の 対 応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	1	0	緊急時対応マニュアルの徹底がなされていない。	全職員の防災等緊急時の対応に対する意識を高める。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	1	1	全職員がそろっての訓練はできていない。	全職員が出勤時に行うようにする。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	1	職員のみとまりが無い。	虐待防止に向けて全職員の意識が高まる研修内容を検討する。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	0	0	職員への説明不足。	保護者のみでなく職員への注意喚起を行っていく。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	1	1		保護者様が医師から伝えられた指示に従っており、直接に意思の指示書はいただいてません。この件については今後見直し、事故防止に努めたいと思います。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	1	1	回覧が徹底されていない。	職員の意識を高める。